

感染症定期報告感染症別文献一覧表(再生医療等製品 2018/4/1~2018/9/30)

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	E型肝炎	2018/2/1 薬生安発0201第1号 薬生血発0201第1号 厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長通知 厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課長通知	本邦において、抗がん剤投与中の患者が人赤血球液よりE型肝炎ウイルス(HEV)に感染し、複合的な要因で劇症肝炎となり死亡した事例が報告されたことを受け、政府は輸血用血液製剤の安全確保措置の周知徹底するよう通達した。(薬生安発0201第1号、薬生血発0201第1号、2018年2月1日付け、2月1日掲載)
2	E型肝炎	ProMED-mail 20180227.5653008	日本赤十字社からの報告によると、日本の施設で80代の女性が輸血によりHEVに感染した後2017年11月に死亡し、本件は輸血が原因のHEV感染による世界で初めての死亡例であると考えられる。2018年1月31日、同社は政府の諮問機関に対し、血液提供者は生のシカ肉を食べた後、同ウイルスに感染した可能性があるとして報告した。ドナーの血液と死亡した女性に同じ種類のウイルスが見つかった。他に感染した血液の受血者はいない。
3	インフルエンザ	ProMED-mail 20180214.5628629	香港の衛生部衛生保護は、鳥インフルエンザA(H7N4)型ウイルスによるヒト感染例が2018年2月10日~14日に確認されたと国家衛生・計画生育委員会から通知を受け、個人衛生、食品衛生及び環境衛生を厳重に保持するよう注意喚起した。本症例は世界で初めてのヒトのインフルエンザA(H7N4)型ウイルス感染症例である。患者は江蘇省常州市Liyang在住の68歳女性患者で、2017年12月25日に症状を発症した。女性は治療のため2018年1月1日に入院し、2018年1月22日に退院した。女性は症状の発現前に生きた家禽と接触していた。医学的調査期間中、女性と密接に接触したヒトには症状がみられなかった。
4	鳥インフルエンザ	ProMED-mail 20171104.5419594	ロシアにおいて鳥インフルエンザA(H5N8)型ウイルスによる初めてのヒト感染例が確認された。2017年10月31日、ロシア連邦消費者権利保護福利監督庁長官は、以前はトリでしかみられなかった鳥インフルエンザA(H5N8)型ウイルスによる無症候性ヒト感染の可能性症例が、ロシアの研究者により確認されたと発表した。感染者は本ウイルス感染流行中にトリの世話をしていたことが分かった。臨床症状はほとんどなく、血清から鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスおよび本ウイルスの抗体が検出された。
5	鳥インフルエンザ	ProMED-mail 20180224.5648329	香港の衛生部衛生保護は、鳥インフルエンザA(H7N4)型ウイルスによるヒト感染例が2018年2月10日~14日に確認されたと国家衛生・計画生育委員会から通知を受け、個人衛生、食品衛生及び環境衛生を厳重に保持するよう注意喚起した。本症例は世界で初めてのヒトのインフルエンザA(H7N4)型ウイルス感染症例である。患者は江蘇省常州市Liyang在住の68歳女性患者で、2017年12月25日に症状を発症した。女性は治療のため2018年1月1日に入院し、2018年1月22日に退院した。女性は症状の発現前に生きた家禽と接触していた。医学的調査期間中、女性と密接に接触したヒトには症状がみられなかった。
6	鳥インフルエンザ	WHOホームページ。 http://www.who.int/csr/don/22-february-2018-ah7n4-china/en/	香港の衛生部衛生保護は、鳥インフルエンザA(H7N4)型ウイルスによるヒト感染例が2018年2月10日~14日に確認されたと国家衛生・計画生育委員会から通知を受け、個人衛生、食品衛生及び環境衛生を厳重に保持するよう注意喚起した。本症例は世界で初めてのヒトのインフルエンザA(H7N4)型ウイルス感染症例である。患者は江蘇省常州市Liyang在住の68歳女性患者で、2017年12月25日に症状を発症した。女性は治療のため2018年1月1日に入院し、2018年1月22日に退院した。女性は症状の発現前に生きた家禽と接触していた。医学的調査期間中、女性と密接に接触したヒトには症状がみられなかった。
7	日本脳炎B型	Emerg Infect Dis. 24(2018)49-57	香港における輸血によるJEV伝播の報告。無症候性ドナーが提供するJEV陽性血液および血小板輸血を受けた患者2例が香港においてJEVに感染した。初発患者1例(52歳男性)は進行性の慢性閉塞性肺疾患を有しており、両肺移植術後、3回の濃厚赤血球輸血を受けた。当該患者は移植の約2ヶ月後、一過性の斑状丘疹および発熱を呈した。調査担当者は感染経路を献血者までたどり、検査により輸血感染によるJEVを確認した。同担当者は、血小板輸血によりJEVに感染した2例目の無症候性患者を特定した。
8	セントルイス脳炎	Transfusion. 57(2017)2987-2994	2015年9月、アリゾナでの腎臓移植患者においてセントルイス脳炎ウイルス(SLEV)感染が確認され、感染源を特定するための調査が開始された。蚊伝染性感染の可能性を判定するため、患者及び献血施設で収集された蚊のサーベイランスデータを検討した。また他の曝露経路を調査するために、臓器及び血液ドナー及びレシipient標本を入手し、SLEV感染について試験をした。このうち、輸血によって患者に投与された血液製剤の4人のドナーのうち1人は血清学的に確認された最近のセントルイス脳炎感染症を有していた。輸血によるSLEV感染の初めての報告である。

ID	感染症(PT)	出典	概要
9	サル痘	J Infect Dis. 216(2017)824-828	コンゴ民主共和国のコホート研究において、症候性サル痘ウイルス(MPXV)に感染した222例の患者が登録された。4例は妊婦で、軽度の感染を有した1例の出産は健常であった。2例は早期自然流産となり、1例は死産であった。死産となった胎児は、手のひらや足の裏を含む四肢、頭部、胴体のびまん性の皮膚黄斑病変といったMPXV感染症の明らかなエビデンスを有しており、高ウイルス量であった。流産または死産に至った女性3例は中等度あるいは重度のMPXV感染症であった。
10	ジカウイルス感染	FDAホームページ. https://www.fda.gov/downloads/BiologicsBloodVaccines/SafetyAvailability/UCM577903.pdf	米国CDCは、ジカウイルス(ZIKV)に関する疫学情報を採血および組織採取団体に伝達するために使用しているBlood and Tissue Safetyウェブページ上の情報を更新した。生体ドナー(生殖細胞、末梢血又は臍帯血からの造血系前駆細胞/幹細胞のドナー等)からのHCT/Pは、ZIKVを伝播する可能性が高いと考えられる事などが掲載されている。
11	ブルセラ症	CDC MMWR. 67(2018)286	米国テキサス州 Paradiseにある酪農場の生乳からブルセラ属菌RB51株が検出された。また、テキサス州住民1例におけるブルセラ症に当該酪農場の生乳が関連していることが明らかとなった。CDCは、2017年6月1日から8月7日に当該酪農場の生乳又は生乳製品を摂取した人は抗生物質治療を受けるべきであると勧告をしている。
12	ボツリヌス中毒	ProMED-mail 20180209.5618769	貯蔵牧草の汚染がボツリヌス症の流行1例を最近引き起こし、Shoalhavenにおいて多数の乳牛が死亡した。South East Local Land Servicesによると、民営の酪農場における本感染源はニューサウスウェールズ州のChief Veterinary Officerにより突き止められた。